

教育委員コラム

教育委員リレーコラム

《生きる力は日々の積み重ねから》

教育委員 榎本 悦子

5月に入りようやく本格的に春めいてきて、景色を見る目線も雪が消え青々とした山々や足元の小さな花々など広がりを感じます。

昨年私共の会社は「北海道教育サポート企業」として登録いたしましたが、社員は子育てが終わった世代が多く実際には協力できずにいます。

しかし、この子育てが終わった世代というのは、高齢になっていく親や子どもの結婚・出産と実に忙しい世代だと痛感しています。自分自身も身体の不調を感じる年代ですが、女性スタッフは休みの日は親の通院や世話、孫が来るといっては料理作りに精を出し、山菜採りは時期を逃すまいと休憩時間にも出かけるパワフル振りです。私共のような温泉旅館の仕事は接客以上に肉体労働も多いのでその生活力に感心します。

彼女達も若い頃からパワフルだったのではなく、日々身の回りに起きる大小の問題を抱えながら自分より守るべき者を優先して働いているうちに逞しくなったのでしょう。考えてみれば、母親というものは、どんなに体調が悪くてもどんなに悩みがあっても、子どもにご飯をたべさせなかったりお風呂に入れなかったりすることがありませんし、それが何十年も続くのですから能力はどんどんアップするはずで。

また、家事で悩みを中断しているうちに「いつまでも悩んだって仕方ない」と悩みから早く離れる良い習慣もついたようです。「家庭の苦労も仕事があるから乗り越えられた」と彼女達は言います。確かに笑顔で接客しているうちに心も引き上げられるような気がしますし、良い接客をしてお客様に喜んで頂くとこちらが癒される事は多々あります。

私達人間は、子どもの頃からずっと、喜んだり悲しんだり怒ったり悩んだり諦めたりの日常の中で「生きる力」つけているのでしょう。

子どもたちにも、日々身の丈に合った苦労を積み上げて活力ある大人になってほしいと願っています。

(次回のリレーコラムは小林教育長です)



弟子屈町教育委員会

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話：015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>



教育あっちこっち情報

和琴小学校で「学習発表会」

2月中旬、和琴小学校で児童の発表力を高めることを目的に「学習発表会」という授業が保護者の参加を得て行われました。最初は2年生一人ずつ「できるようになったこと」の発表と国語教科書の音読・詩の暗読・器楽合奏。4年生は落語と創作落語。1年生は2年生と同じ発表と馬飛び。5・6年生は「書写の時間」「世界遺産白神山地」「縫い物」についての発表がありました。

発表後、校長は「一人ひとりの発表内容に違いはあるが、それぞれ児童の成長した姿を見ることが出来、とても良かった」と講評。頑張った児童に大きな拍手が送られました。

児童生徒のコミュニケーション能力が課題になっている昨今、このような学習活動の積み重ねが大事だと実感したひと時でした。

教育長 小林 俊夫



新しい給食センターいよいよ稼働!

弟子屈中学校と一体型という珍しい形の給食センターが完成し、4月5日本格稼働されました。各種給食設備が一新されると共に、安全管理設備についても充実されました。

子どもたちにとって安心安全な給食を、小学校6校・中学校2校に提供することは勿論の事、災害時の防災拠点としての機能も備えています。何よりも、食育の情報発信基地としての活用が見込まれます。地場産品を生かした給食を今後も継続して行って欲しいですね。

さて、給食センターの開始を前に、関係者が集まっての開所式と試食会が行われ、子どもたち一番人気のカレーをいただきました。「弟子屈町の給食は美味しい」と転入された先生方から聞いていましたが、出席者一同納得の味でした。

委員長代理 藤原 将男



美留和小学校の終了式に行きました

3月は卒業の季節ですが、卒業生のいない美留和小学校では終業式だけが行われました。私達教育委員も何度も卒業式には参列いたしましたが、終業式だけの学校におじゃまするのは今回初めてで、卒業式とは違う感動をしました。

式典というもの、参加するすべての人が雰囲気を作り上げるものと常々思っていました。こんな小さな学校の終了式にもきちんと成されている事に感心しました。担任の先生に呼ばれた子は卒業証書さながら、一人ずつ前に出て校長先生から修了証書を受け取り、正面を向いて今後の抱負を大きな声で言います。立ってから自分の席に戻るまで皆精一杯の緊張感を持って自分の責任を果たしています。1年生から呼ばれるので、お手本の無い中頑張る姿は本当にいとおいしいものです。

大規模校とは違い小さな学校にはできない事がたくさんあると思いますが、このような一体感は小さな学校だからできる事だと思います。これからも頑張ってくださいね。

教育委員 榎本 悦子



弟子屈高校の入学式に出席して

新入生が新しい環境に心ときめく最初の行事、入学式。校長先生より自分の名前を呼ばれて入学の実感を覚えた生徒さんも多かったと思います。早く慣れて勉学に部活に活躍して戴きたいと願っています。

私は卒業生ではありませんが、いつもとても楽しみにしている事があります。それは、式典で歌われる弟子屈高校の校歌です。

歌詞・曲共に素晴らしく、私は弟子屈高校の校歌が好きです。そして今年、野球部の生徒さん達が、新入生の皆さんの前で披露した校歌、とても力強い歌唱、新入生の皆さんの心にもジーンと響き渡ったことでしょう。

未永くそれぞれの人生の思い出に残るシーンと思えました。

そして、皆さんが一致団結して、様々な場面で校歌が歌われる事を期待しています。

教育委員長 小澤 重



昭栄小学校待望の新一年生

4月5日、町内の小学校が一斉に入学式を迎えた。私も昭栄小学校にお伺いすることとなり、新一年生の数を確認することに・・・すると女子1名との事。

入学式当日、玄関を入りしばらくすると、御両親とともにピカピカのランドセルを背負った女の子が入ってきた。

先生たちや地域の人に出迎えられ、ちょっと緊張気味の様子。しかし入学式が始まると堂々と入場し、落ち着いた姿のなか、式が進んでゆく。

そこには、5人の在校生の笑顔、校長先生をはじめとする教職員や地域の方々の温かなまなざし、待望の新一年生を迎えるアットホームな入学式だった。

教育委員 菅原 誓之



*** 編集後記 ***

4回目の「教育委員コラム」発行となりました。次回のコラムは小林教育長が担当、発行時期は8月頃を予定しておりますが、昨年の8月に第1号を発行し、これでようやく一回りとなります。これからも皆さんに読んでいただけるコラムにして行きたいと思っております。

さて、弟子屈町も春の息吹を感じられるこの頃ですが、いよいよ桜のシーズンですね。今年も奥春別の「合格の木」の桜が咲き誇るのを楽しみにしているところです…。

弟子屈町教育委員 委員長 小澤 重
委員長代理 藤原 将男
委員 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
教育長 小林 俊夫

